

第64期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

感動をかたちに ▶▶
Turn the delight into reality

 TOKAI RIKA

株式会社 東海理化

(登記社名 株式会社 東海理化電機製作所)



取締役会長

取締役社長

木下 潔 牛山 雄造

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第64期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の業績

当中間期（第2四半期累計期間）の世界経済は、先進国では緩やかな回復基調で推移していましたが、景気刺激策の終了や雇用悪化を受け、減速感が強まりました。一方、中国、インド、ASEAN諸国では、内需や輸出拡大により、急速な回復となりました。

自動車業界におきましては、欧州では、信用不安の影響で自動車販売台数が前年同期を下回る水準で推移しましたが、米国の緩やかな景気回復、日本や中国の政府支援策、ASEAN諸国の市場拡大による販売台数の増加が欧州の落込みをカバーしたことから、全体としては、前年同期を上回りました。

このような環境下におきまして、当社グループは、商品競争力の向上および収益確保のため、グループを挙げて「スピード」「実行」「フォロー」を機軸に徹底して取り組んでまいりました。

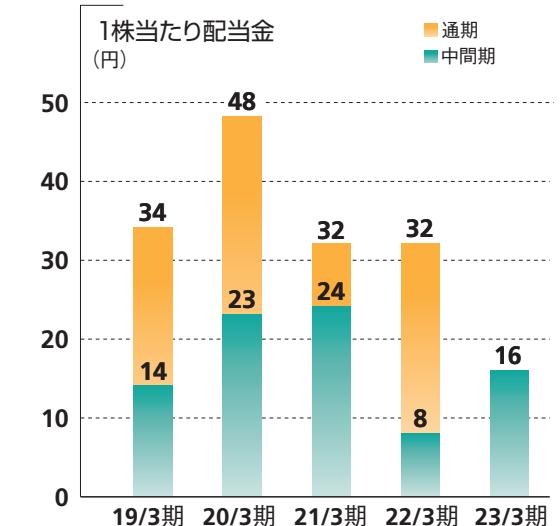
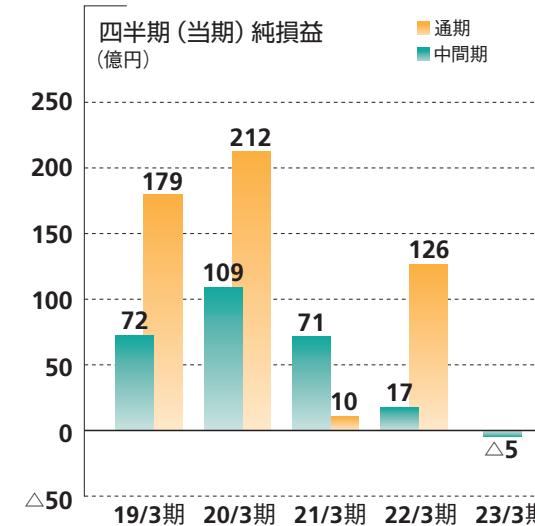
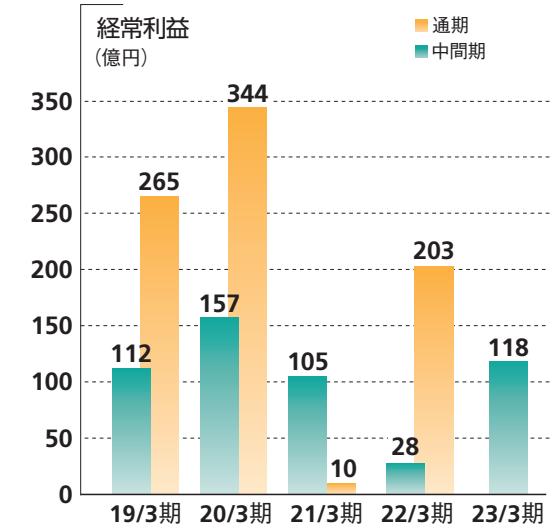
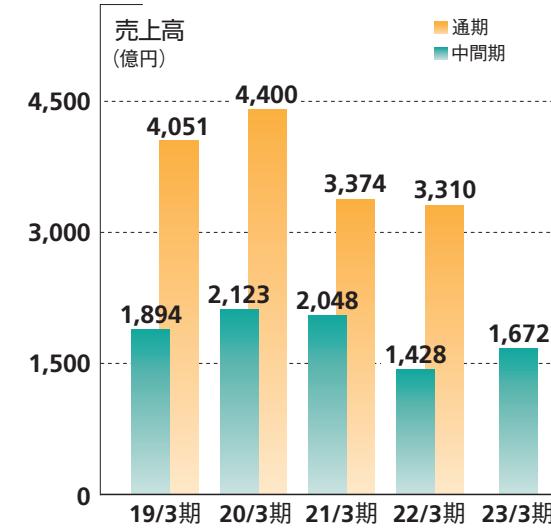
当中間期の業績につきましては、売上高は1,672億円と、前年同期に比べ244億円（17.1%）の増収となり、利益につきましては、経常利益は118億円と、前年同期に比べ90億円（315.0%）の増益となりましたが、四半期純損益は客先の市場回収措置に伴い製品保証引当金繰入額を特別損失として計上したため5億円の損失となり、前年同期に比べ22億円（-%）の減益となりました。

配当金につきましては、株主の皆様の利益を重要な経営方針の一つとし、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案してまいりたいと考えております。当期の中間配当金につきましては、1株につき16円とさせていただきます。

当社グループは、引き続き収益確保に向けた様々な施策を実行しつつ、お客様の期待に応える「品質の東海理化」の確立のため、品質基盤の更なる強化を図る活動に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月



日本

売上高は1,206億円と、前年同期に比べ139億円（13.1%）の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等に積極的に取り組んだことにより61億円と、前年同期に比べ74億円（-）の増益となりました。

北米

売上高は288億円と、前年同期に比べ35億円（14.0%）の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等の効果により4億円と、前年同期に比べ2億円（104.1%）の増益となりました。

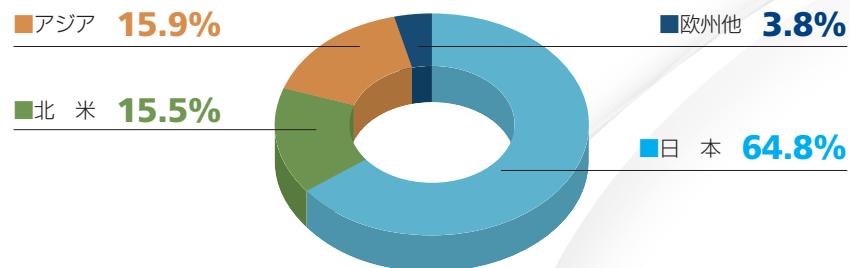
アジア

売上高は295億円と、前年同期に比べ95億円（47.6%）の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより51億円と、前年同期に比べ31億円（164.4%）の増益となりました。

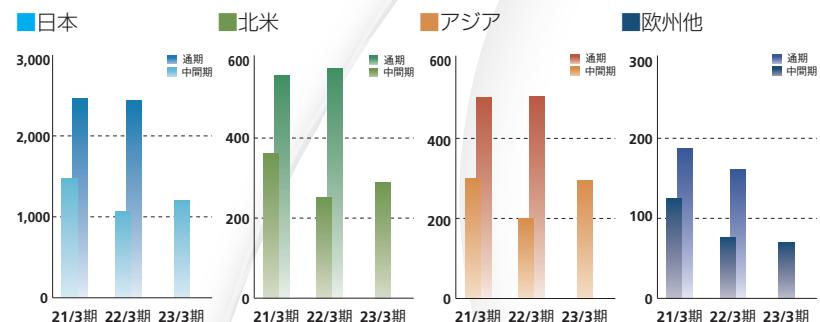
欧州他

売上高は70億円と、前年同期に比べ6億円（△8.9%）の減収となりました。営業利益は、1億円と、前年同期に比べ0.8億円（△33.0%）の減益となりました。

地域別売上高構成比

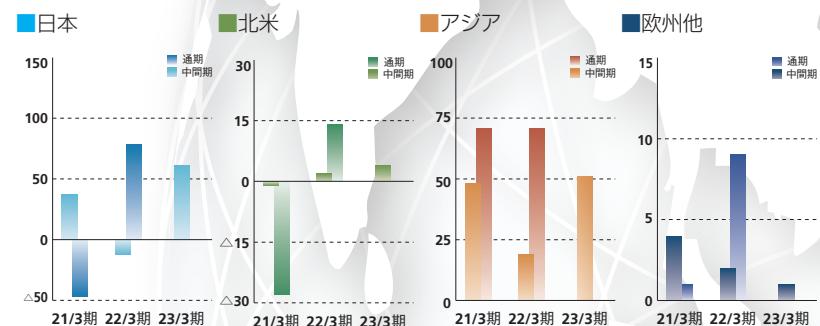


地域別売上高（億円）



※内部売上高控除前の数字です。

地域別営業利益（億円）



ブラジル子会社TRBRに新工場を建設

2001年に設立しました当社のブラジルでの子会社「TRBR INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.」(=TRBR)を現在のピンダモニャンガバ市から約300キロ西のサンタバーバラ・ドゥ・オエステ市に新工場を建設して移転することを決定しました。今後拡大が期待されるブラジル市場への対応のため生産能力を増強し、来年5月の竣工を目指して建設を進めていきます。



インド新子会社TRMNが操業開始

2008年8月に設立しました当社のインドにおける第2拠点「TOKAIRIKA MINDA INDIA Private Limited」(=TRMN)が今年11月に操業を開始します。現地で生産される新型車両向けにシートベルト、キーセット、イモビライザー等の生産を手がけていきます。



「SMTコネクタ ターミナル高速挿入機」を開発

電子基板の省スペース化、組立工程の削減に寄与するSMT(※)コネクタは、近年、量動向が加速度的に増加しており、従来以上の生産能力が必要とされています。今回開発した高速挿入機は、従来機と比較してより高速、高精度を実現し、30%以上の能力アップを可能としました。

※SMT…Surface Mount Technology（表面実装技術）



(ターミナル高速挿入機) (SMTコネクタ)

「あいち・なごやクリーンアクションfor COP10」に参加

今年10月に愛知・名古屋を会場として開催された生物多様性条約第10回締約国会議(=COP10)に伴い、開催地にふさわしい地域づくりをすすめるための県民市民参加によるクリーン活動が展開されました。当社もそれに呼応し、県内の各工場において5月から10月にかけて多数の社員ボランティアが参加した清掃活動を実施しました。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 (22.9.30現在)	前期末 (22.3.31現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,378	23,484
受取手形及び売掛金	51,101	59,796
有価証券	43,631	34,811
棚卸資産	20,570	21,640
その他	14,605	11,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,561	27,933
その他	43,902	46,179
無形固定資産		
投資その他の資産	37,720	41,485
資産合計	263,690	269,737

四半期連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計 (自22.4.1) 至22.9.30)	前第2四半期累計 (自21.4.1) 至21.9.30)
売上高	167,268	142,816
売上原価	141,840	126,574
売上総利益	25,428	16,242
販売費及び一般管理費	13,545	14,743
営業利益	11,882	1,498
営業外収益	729	1,692
営業外費用	725	327
経常利益	11,886	2,864
特別利益	57	11
特別損失	12,719	—
税金等調整前四半期純損益	△775	2,875
法人税等	△669	911
少数株主損益調整前四半期純損益	△106	—
少数株主利益	399	201
四半期純損益	△505	1,761

科目	当第2四半期末 (22.9.30現在)	前期末 (22.3.31現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,103	46,250
未払費用	9,642	10,349
その他	28,452	23,189
固定負債	26,105	26,397
長期借入金	7,993	8,286
退職給付引当金	16,993	17,094
その他	1,119	1,016
負債合計	106,303	106,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,134
利益剰余金	120,538	123,234
自己株式	△7,039	△7,035
評価・換算差額等	△8,287	△4,908
その他有価証券評価差額金	△296	507
為替換算調整勘定	△7,990	△5,415
新株予約権	564	524
少数株主持分	3,620	3,744
純資産合計	157,387	163,550
負債及び純資産合計	263,690	269,737

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計 (自22.4.1) 至22.9.30)	前第2四半期累計 (自21.4.1) 至21.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,285	10,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,716	△5,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,558	4,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,366	△177
現金及び現金同等物の増減額	6,644	9,137
現金及び現金同等物期首残高	54,329	25,008
現金及び現金同等物四半期末残高	60,973	34,145

会社情報 / 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

会社概要

資本金	228億円
従業員数	連結 15,052名 単独 6,103名
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地 (〒480-0195) TEL (0587)95-5211(代表)
主要な事業所	本社工場、豊田工場、音羽工場、萩工場 (以上愛知県) 東京営業所 (神奈川県)、大阪営業所 (大阪府)、 広島営業所 (広島県) 東北技術センター (山形県)
連結子会社	28社 (日本8社、北米6社、アジア10社、欧州他4社)
持分法適用会社	6社 (日本3社、北米1社、アジア2社)

役員一覧

取締役会長	木下 潔	取締役	中村 弘之
取締役社長	牛山 雄造	取締役	脇谷 忠志
取締役副社長	土屋 隆興	取締役	武馬 宏治
専務取締役	加藤 茂	取締役	大林 良弘
専務取締役	佐々木 芳輝	取締役	谷野 雅春
専務取締役	水野 隆文	取締役	松山 昌樹
専務取締役	恒川 清	取締役	佐藤 幸喜
専務取締役	後藤 真	常勤監査役	久保田 一久
専務取締役	岩田 仁	常勤監査役	西尾 弘
常務取締役	服部 峰雄	監査役	上坂 凱勇
常務取締役	石田 昭二	監査役	加藤 光久
常務取締役	濱本 忠直	監査役	白崎 慎二
常務取締役	平野 均		
常務取締役	森 幹宏		
常務取締役	河口 憲司		

株式の状況

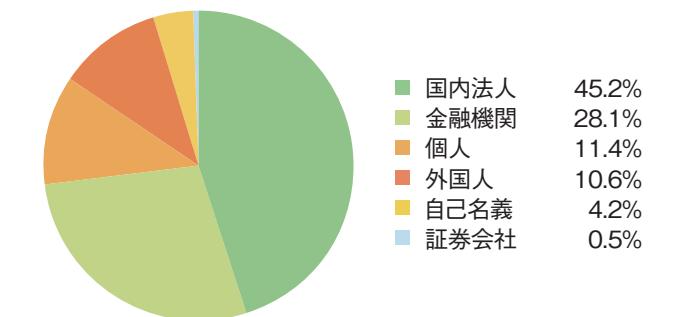
株式の総数	
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	94,234,171株
株主数	9,247名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	29,367	31.16
株式会社デンソー	8,839	9.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,104	8.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,530	4.80
第一生命保険株式会社	2,375	2.52
全国共済農業協同組合連合会	1,987	2.10
野村信託銀行株式会社(投信口)	985	1.04
東海理化社員持株会	899	0.95
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	790	0.83
あいおい損害保険株式会社	730	0.77

(注) 1. 当社は、自己株式3,913千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. あいおい損害保険株式会社は、平成22年10月1日をもってニッセイ同和損害保険株式会社と合併し、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社となっております。

株式の所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
証券コード	6995
株式名義書換 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460 - 8685) 中央三井信託銀行株式会社名古屋支店証券代行部 フリーダイヤル 0120-78-2031
同事務取扱場所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
上場取引所	電子公告
公告の方法	ただし、電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。 (アドレス) http://www.tokai-rika.co.jp/

ホームページをご利用ください

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社の幅広い情報を提供しています。なお、公告についても、ホームページに掲載いたします。皆様のアクセスをお待ちしております。

<http://www.tokai-rika.co.jp/>



お知らせ

1. 未受領の配当金のお受取りについて

上記株主名簿管理人にお申出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等について

口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、特別口座に口座をお持ちの株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付、自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

3. 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

